

黒部まちづくり協議会 活動報告

2023年度活動のあらましと今後の展開



2024年 5 月

特定非営利活動法人
黒部まちづくり協議会

はじめに

今年度も一年間、皆さまのご理解とご支援のもと、黒部まちづくり協議会を運営することができました。

長年、定期的で開催している「くろワンプロジェクト」では、開催中に新たなイベントを企画・実施することにより公共交通の利用者増進に貢献しております。

また、新たに立上げた「こども食堂ワークショップ」についても、定期開催にて幅広い年齢層の方への「まちづくり協議会の活動と理解を広めるきっかけづくり」「親子の憩いの場づくり」に寄与しているものと考えます。

そして、「サクラワークショップ」では、新たに開催した桜の県外視察を機に、これから30年後の「黒部市桜観光」について話し合い、今後の活動を模索できたのではと思われま

す。
各ワークショップ・プロジェクト等の活動内容につきましては、本冊子にてご報告しておりますので、何卒ご一読いただき率直なご意見を頂戴することで、まちづくり協議会の発展および地域の発展に繋がるものと考えております。

まちづくり協議会の認知度を上げ、共に活動する人や応援して下さる方の「人の輪」を広げてまいりますので、今後ともまちづくり協議会の活動にご理解いただきますようお願い申し上げます。

特定非営利活動法人 黒部まちづくり協議会

会長 **松下 哲也**

I 「はなのあるまちづくり」を目指して

1. まちづくりのテーマ

私たちが目指す魅力あるまちづくり運動のテーマは「“はな”のあるまちづくり」であり、3つの“はな”の字に活動理念を集約させています。美しい程に、栄える程に人は集まり、市民も栄え、まちも伸び育っていきます。私たちはそんな、いつもにぎわう魅力にあふれたまちづくりを目指します。

“このまちに生まれて良かった”と思える黒部を次世代に受け継いでいくために、市民が参加する、息の長いまちづくりを進めていきます。

まちづくりのテーマ

「はなのあるまちづくり」をテーマとし、魅力あるまちづくりを目指します。

「はなのあるまちづくり」とは…

はな

華

まちの個性づくり
シンボルづくり
にぎわいづくり

はな

花

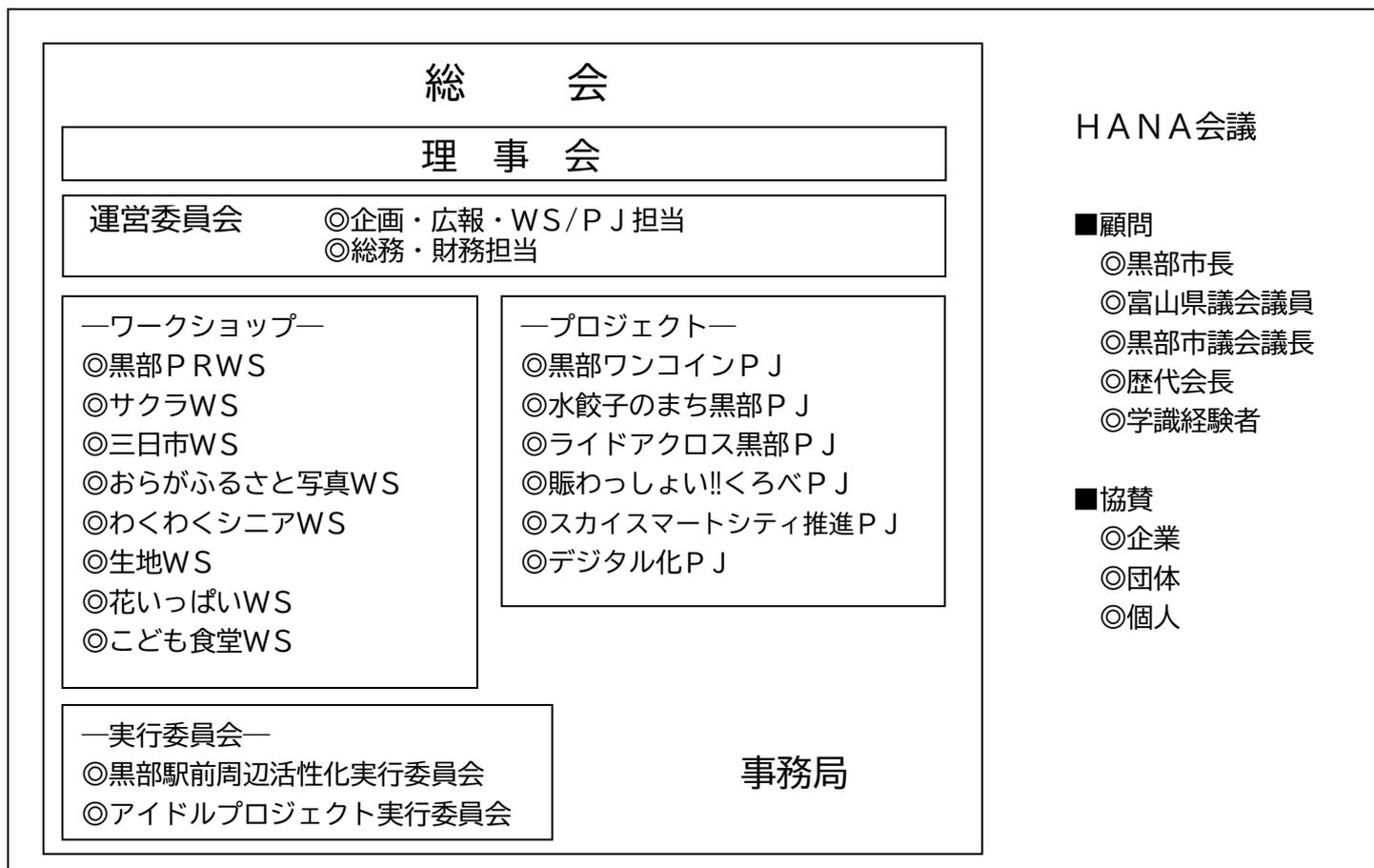
花と名水の美しい
自然を活かした
魅せるまちづくり

はな

英

市民一人ひとりが
知恵を出し合い
進めていくまちづくり

2. 2023年度協議会組織図



Ⅱ 2023年度 黒部まちづくり協議会活動報告

§ 1. 活動方針と経過

当協議会は、「市民一人ひとりから始めるまちづくり」を活動の原点として、1997年（平成9年）に市民が自主的に活動する団体として設立し、その後NPO法人として今日を迎えています。

27年余りの長きにわたり、それぞれの活動が黒部市の発展と活性化に寄与してきたと自負しております。

しかしながら、このまちづくり活動ですが、設立当初とは環境も様変わりし、求められるものも変わってきております。

黒部まちづくり協議会が今後も地域にとって必要とされ、愛される団体であり続けるために、新しい発想も取り込みながら、まちづくりの原点に立ち返り活動を進めてまいります。

§ 2. 主な活動報告と振り返り

<ワークショップ・プロジェクト活動の活性化>

2023年度は、当初計画の活動を継続しながら、「こども食堂」など新たなワークショップを立ち上げるとともに、8月には「サマーナイトフェスタ賑わっしょい!!くろべ」、3月には「春のにぎわいマルシェ KINSHOU HOME DAY2024」や「桜と椿の鑑賞会」（花いっぱいWS）の開催等、様々な視点での活動を展開してきました。

1. ワークショップ(WS)の活動

(1) サクラワークショップ

リーダー 松倉 孝暁

【活動目標】

「いつかサクラの下で」を合言葉に、黒部を桜の名所としていくとともに、桜の植樹や管理育成活動を通して、自然への慈しみや人と人の交流を進めています。

【活動内容及び報告】



- 4月 黒部ワンコイン・フリーきっぷを利用し桜巡り、桜苗木の移植
- 6月 若栗地区草刈り
- 2月 桜苗木頒布会
- 3月 吉野山「桜見学会」

【2024 年度 活動予定】

6月	黒部川堤防の桜周辺の草刈りイベント
7月～8月	害虫発生に応じて薬剤散布
2月	桜の苗木頒布会
3月	桜見学会

(2) 黒部 PR ワークショップ

リーダー 荻野 弘文
サブリーダー 辻 和夫

【活動目標】

Radio 番組では、様々な地域のゲストとの語らいの中で、地域の新たな「宝」や「トレンド」を見つけ、発信します。また、地域の新たな魅力を再発見するために、他のPJやWSとのコラボ企画を提案し協力することを活動の目標とします。

【活動内容及び報告】

- ・ラジオミュー「われらまちづくりタイ」番組放送
- ・春のくろワンぱち撮り鉄「黒部のお立ち台スポットを探せ!」、秋のくろワン「ジオ散歩!!」



われらまちづくりタイ「広げよう!まちづくりの輪」出演者

★FMラジオミュー番組「われらまちづくりタイ」:毎週月曜日 19:00~19:30 生放送

放送	放送日	名前(敬称略)	住所	プロフィールと主な内容
1037	R5.4.3	末上 哲平	黒部市	PTA 活動でやりたい活動や子どもたちに送りたいものについて伺った。
1038	R5.4.10	橋詰 真知子	黒部市	子育てのお話から、黒部市議としての活動に至るまでのお話を伺った。
1039	R5.4.17	石田 淳	黒部市	子育てに奮闘するパパのお話と、最近の趣味について伺った。
1040	R5.4.24	尺戸 智佳子	学芸員	黒部市美術館で開催中の企画展についてたっぷりとお話を伺った。
1041	R5.5.1	長谷川 絵美	黒部市	設計という仕事を知らせていただく為、色々な事を伺った。
1042	R5.5.8	マーキーマイコ	黒部市	お店で扱うサステイナブルな商品と、黒部での暮らしについて伺った。
1043	R5.5.15	倉田 恭平	黒部市	建材の仕事を行いながら、趣味としてのバンド活動を頑張る日々を伺った。
1044	R5.5.22	池田 智	黒部市	聴くことが好きな音楽、そして黒部の良さについて伺った。
1045	R5.5.29	山口 朋文	黒部市	KOKO くるべの建築に携わった経験、JC としてのまちづくり活動について。
1046	R5.6.5	中村 多恵	黒部市	趣味としての音楽活動についてたっぷりとお話を伺った。

1047	R5.6.12	岸 靖子	黒部市	黒部市で音楽を作り、ライブなどを行う楽しい日々について伺った。
1048	R5.6.19	米屋 信昭	魚津市	音楽との関わりや、大好きなサザンオールスターズのお話を伺った。
1049	R5.6.26	中島 朋子	黒部市	黒部まちづくり協議会のこども食堂「あつまれくろべ」について伺った。
1050	R5.7.3	西川 文雄	入善町	音楽ライブ活動を趣味として行い、音楽と共に過ごしてきた日々を伺った。
1051	R5.7.10	濱田 幸宜	魚津市	スポーツと音楽を二刀流で楽しむ日々について伺った。
1052	R5.7.17	濱田 久美子	魚津市	趣味の音楽活動と、地元で行っている味噌づくり教室について伺った。
1053	R5.7.24	青木 穂波	入善町	ご自身で始められた養鶏について、たっぷり伺った。
1054	R5.7.31	鈴木 杏奈	黒部市	8/5（土）に開催される黒部踊り街流しについてたっぷり紹介。
1055	R5.8.7	松崎 加代子	魚津市	音楽活動やレッスン、アウトリーチを行う松崎さん、音楽への愛を伺った。
1056	R5.8.14	今田 光一	黒部市	KU ドローンマップ開拓機構のドローン活用について伺った。
1057	R5.8.21	大和 邦彦	朝日町	「生涯ドラマー」な大和さんにドラムとの出会いと音楽性について伺った。
1058	R5.8.28	東狐 徹哉	入善町	これまでの音楽との付き合いとこれからについて伺った。
1059	R5.9.4	若島 栄一	入善町	ベースで数ある音楽を奏でて来た若島さんに音楽の好きなどを伺った。
1060	R5.9.11	大菅 充	入善町	「ファンタスティックバンド」サクソ担当・音楽人生について伺った。
1061	R5.9.18	宝田 晴美	入善町	津軽三味線の先生として、会を率いられ音楽とのかかわりを伺った。
1062	R5.9.25	鈴木 杏奈	黒部市	地域おこし協力隊の任期を終え、今のお仕事やこれからについて伺った。
1063	R5.10.2	中島 美奈	朝日町	ピアノの先生として音楽との付き合い方について伺った。
1064	R5.10.9	西村 孝徳	朝日町	ヴァイオリンと長く付き合ってこられヴァイオリンについて伺った。
1065	R5.10.16	東條 法彰	朝日町	住職として町や地域にできることを考え実践してこられた活動を伺った。
1066	R5.10.23	直井 直子	朝日町	朝日にリターンされて、地元でお仕事をすることの良いところを伺った。
1067	R5.10.30	尾崎 俊太郎	劇 団	11月18,19日セレネで講演の「宇奈月温泉わくわく物語」について伺った。
1068	R5.11.6	上原 祐一	朝日町	アゼリアで開催する映画祭と趣味のアウトドアについて伺った。
1069	R5.11.13	堀池 亮太	宇奈月町	宇奈月と三日市でお店を営む堀池さんに、海外でのお話も伺った。
1070	R5.11.20	黒田 裕也	黒部市	バッグパッカーとしての海外経験とその経験がどう生きているか伺った。
1071	R5.11.27	廣川 頼央	黒部市	SDGs 活動の取り組みに参加し、気付いた事を伺った。
1072	R5.12.4	城戸 孝行	富山市	旅行で色々な所を回った経験を地元を活かすことについて伺った。
1073	R5.12.11	山室 弘明	富山市	仕事の傍ら、ボランティアに積極的に参加する日々について伺った。
1074	R5.12.18	水越 勇人	黒部市	FUROBAKKA の支配人、黒部の良さや、自然の素晴らしさを伺った。
1075	R5.12.25	パーソナリティ	—	年末の特別版パーソナリティ 3人が今年のまちづくり隊を振り返った。
1076	R6.1.1	パーソナリティ	—	パーソナリティで今年の PRWS やまちづくりの活動について話す。
1077	R6.1.8	山岸 優	富山市	富山でテントサウナイベントを開催中。サウナの魅力を伺った。
1078	R6.1.15	池田 幸哉	富山市	「富山に飛ばされた男たち」の活動や、富山の良さについて伺った。

1079	R6.1.22	木村 嘉樹	富山市	魚津の SAUNA CNOC（サウナクノック）支配人。サウナの良さを伺った。
1080	R6.1.29.	市橋 友子	黒部市	移住後のコミュニティづくり集まりの参加で分かった黒部の良さを伺った。
1081	R6..2.5	坂本 真也	魚津市	若い頃の経験から、人の心を支えることを仕事にされているお話を伺った。
1082	R6.2.12	浜元 克吉	魚津市	校長としての新川高校独自の取り組みやこれからの学校のあり方を伺った。
1083	R6.2.19	川辺 拓郎	滑川市	KUROBE アクアフェアリーズ Jr のコーチを務めたことのある川辺さんに、バレーを通じた人とのかかわり方について伺った。
1084	R6.2.26	松倉 孝暁 八木 秀治	黒部市	まちづくり協議会のサクラWS リーダー交代によるこれからの活動と、春に向けたイベントについて伺った。
1085	R6.3.4	松倉 麻里	黒部市	趣味のカメラが仕事になり写真を通して話をする大切さについて伺った。
1086	R6.3.11	山崎 絵里加	黒部市	結婚を機に黒部に移住され、お仕事や子育てについて伺った。
1087	R6.3.18	大島 良紗	黒部市	経験したベビーマッサージを同じ悩みの人に提供したいとの思いを伺った。
1088	R6.3.25	西本 智子	黒部市	黒部にいらっしゃった理由やこれからの活動について伺った。

【2024 年度 活動予定】

ラジオ番組「われらまちづくりタイ」では、毎週、新たな番組ゲストとの「一期一会」の出会いを大切に、今後のまちづくりに繋がります。

また、その他のPR 活動として、黒部ワンコインPJ との協力企画である「ジオ散歩シリーズ」などの継続開催、加えてサクラWS、おらがふるさと写真WS、黒部スカイスマートシティ推進PJ などとの連携にて黒部の新たな魅力発見と情報発信に努めます。

(3) 三日市ワークショップ

リーダー 家敷 誠貴
サブリーダー 森丘 晃之
サブリーダー 松倉 孝暁

【活動目標】

市場町として発展してきた三日市の歴史を踏まえ、三日市WS が中心となって計画した三日市の市姫通りで、現在の「市」を継続的に開催し、三日市の活性化に努める。

【活動内容及び報告】

6月3日(土) 第49回やってみっか市開催
10月7日(土) 第50回やってみっか市開催

【2024 年度 活動予定】

6月8日(土) 第51回やってみっか市開催
10月6日(土) 第52回やってみっか市開催



(4) おらがふるさと写真ワークショップ

リーダー 中平 一郎

【活動目標】

『“ふるさとと黒部”の素晴らしいお宝風景を探して』をメインテーマとして、ふるさと大好き・写真撮影大好きメンバーが撮り集めた写真を県内外に紹介し、おらがふるさと自慢をアピールする。

【活動内容及び報告】

- ① [第11回おらがふるさと写真展：セレネ] 9月11日～24日
コロナ対応の緩和もあり、「セレネ」でのモーツァルト音楽祭が開催されるとともに、宇奈月温泉が開湯100周年を迎える年であることから、宇奈月温泉風景を中心とした特別記念展「美しき宇奈月」を開催した。1Fでの特別展示は初めての為、作品展示に戸惑ったが、「内容が充実していた」「景色が素晴らしかった」とのご意見が多く励みになった。また、2Fで同時開催の「第11回おらがふるさと写真展」も好評であった。



- ② [市民交流センター“あおーよ”写真展] 1月8日～14日
正月休みで帰省中の皆さんにも「ふるさとの写真」を見ていただきたいと考えていたところ、“あおーよ”からの声かけがあり写真展が実現した。新しい会場での初展示であったが、従来とは一味違う展示会となった。一般来場者に交じり高校生の来場も多く、「黒部にこんなキレイな所あったの？」等の問いかけ場面も多数見受けられた。
県内外、幅広い世代の人への「ふるさとと黒部」のPRに繋がったものと思われる。

【2024年度 活動予定】

今年度は、第12回目の写真展となるが、例年通り「モーツァルト音楽祭」に併せての開催を予定している。なお、開催会場や展示方法については、現在検討中であり、より効果的の企画を目指します。

(5) わくわくシニアワークショップ

リーダー 村井 洋子

【活動目的】

人は充実してこそ自身の存在感、生の感覚が満たされる。私たちが仕掛けるWSの活動によって、参加するシニア層への心の充実や喜びに繋がりたいと思っています。

【活動内容及び報告】

高齢者の作品制作への参加促進と発表の場への外出機会の創出を目的として「シニアのための塗り絵展」を開催。

- シニアのための塗り絵展 7月28(金)～7月30日(日) (コラーレ)
来館者 7/28:76名 7/29:119名 7/30:112名 計 307名

5/10、5/30、6/2	下絵・ぬり絵確認
6/13、6/19、6/23、7/20、7/21	打合せ、額入れ等
7/27、7/30	作品展示・撤収

ハンディがある方との「コラボアート展」開催により、互いの思いへの理解を深める。

- みんなのアート展
12月1日(金)～4日(月) (コラーレ)
来館者 12/1～4 計 300名

8/27、9/13	打合せ
10/7、10/17、11/8、11/26	アート展準備
12/1～12/4	作品展示・撤収



【2024年度 活動予定】

- シニアのための塗り絵展 令和6年 6月14日～6月16日
- みんなのアート展 令和6年 12月6日～12月8日

(6) 生地ワークショップ

リーダー 岡島 和悦

【活動目標】

古くから漁業文化のまちとして発展してきた「生地地区」で漁業の保存・継承を目指す。

【活動内容及び報告】

新型コロナの感染症分類も移行してはいるものの、今暫く活動を中止としました。

【2024年度 活動予定】

地元黒部の文化・伝統を守るとともに、次世代への継承を目指し、広く市民に認知いただく機会を創出します。

(7)花いっぱいワークショップ

リーダー 高本 一恵

【活動目標】

北陸新幹線の開通から10年目を迎える今、黒部がより一層「花いっぱいのまち」となるよう活動したいと考えます。“まち”も人と同じように「見られることでドレスアップする」を合言葉に、季節ごとの花々を育てたくさんの人に鑑賞してもらうことにより「潤いのあるまちづくり」に貢献します。

【活動内容及び報告】

令和3年度・4年度は活動を休止していたが、令和5年度から活動を再開し、3/31(日)「くろべに咲く“桜と椿”で遊ぼう！」を開催した。チラシやSNSで参加を募ったところ、反響は大きく魚津市や富山市からの参加も見受けられました。残念ながら、当日は桜の開花が遅れ鑑賞できませんでしたが、もう一つの目玉である「椿」は見事に咲き誇っており、参加者は満開の椿を眺めながら“春のひとつとき”を堪能しました。また、珍しい春の花々を見つけ「花の名や育て方」をスマホで調べて情報交換するなど、今後の活動にとって有意義なイベントであったと考えています。



【2024年度 活動予定】

季節ごとの花の名、植え方、育て方の講習会等の開催、オープンガーデンの考え方を進め、「ガーデン見学・鑑賞会」の実施したいと考えています。また、各地区や市民の方の協力のうえ、「モデルガーデン」の開設も企画したいと思います。

(8)こども食堂ワークショップ

リーダー 中島 朋子 吉江 都
若林 絵美 松川 深雪

【活動目標】

子どもに栄養バランスのとれた食事を提供するとともに、高齢者など幅広い年齢層との交流・体験活動・学習支援等子どもの居場所づくり活動の実施し、地域のなかで、地域の人たちの協力で活動するこども食堂を目指します。

【活動内容及び報告】

2023年6月、「地域の居場所に」をコンセプトとし予約不要で誰もが気軽に立ち寄り楽しめる場所を目指して活動を開始。伝統文化や季節のイベントに合わせたパーティ形式など「楽しい食事」を提供するとともに、様々なワークショップの企画により、幅広い世代の参加者の楽しみに繋げることができた。徐々に市内全域に認知され、年末には荻生公民館で「おせち料理」メニューで開催した。また、同時に開催の小中学生の「制服・体操服のお譲り会」も反響があり、市内施設・企業に制服等回収箱を設置している。

《2023年度の主な活動》

- | | |
|-----------------|--------------------|
| ① 6月18日(日) | 食事提供 |
| ② 7月17日(月・祝) | 食事提供 |
| ③ 8月2日(水)・6日(日) | 学習編(食事提供なし:お菓子提供) |
| ④ 10月22日(日) | 食事提供(ハロウィンパーティ) |
| ⑤ 11月26日(日) | 食事提供(Xmasパーティ) |
| ⑥ 12月28日(日) | 食事提供(お正月の伝統料理) |
| ⑦ 1月28日(日) | 制服・体操服お譲り会(食事提供なし) |
| ⑧ 3月3日(日) | 食事提供(ひな祭り) |



【2024年度 活動予定】

子どもにバランスのとれた食事を提供するとともに、幅広い世代層との協力により、子ども達に日本文化や地域の伝統等を教え、繋いでいく活動も大切と考えています。

2. プロジェクト(PJ)の活動

(1) 黒部ワンコイン・プロジェクト

リーダー 菅野 寛二

【活動目標】

公共交通の利用促進と、歩いて暮らせるまちづくりを進める

- ・市民マイレール意識の高揚を図り、地鉄本線および市内バス路線の利用を促進する。
- ・環境にやさしく、人にやさしい「住んでみたい、訪ねてみたいまちづくり」を提案する。
- ・「ふるさと黒部のよさ」を再発見し、その魅力を再認識し、発信する活動を進める。

＜実施時期＞

- ・春編：令和5年3月11日（土）～4月23日（日）の土日祝日 計15日間
- ・秋編：令和5年9月16日（土）～10月29日（日）11月26日（日）の土日祝日 計17日間

【活動内容及び報告】

- フリーきっぷ（黒部ワンコイン・フリーきっぷ「くろワンきっぷ」）の発売
黒部市内電車線と黒部市内バス路線の乗車で、1日500円(小人250円)乗り放題、乗降自由となるフリーきっぷの販売。バス路線については2路線とする。(○新幹線市街地線 ○生地循環線)
- 体験型ツアーの提案と着地型商品づくり（沿線観光・散策など）
- フリーきっぷ購入者に対するプレミアムサービスの実施
黒部ブランドや地場製品のPR促進と沿線施設での各種割引の実施。
- プチ黒部検定、スタンプラリーの実施

① 楽駅停車の旅 2023 春編

A. 「ワンコイン・フリーきっぷ」販売枚数

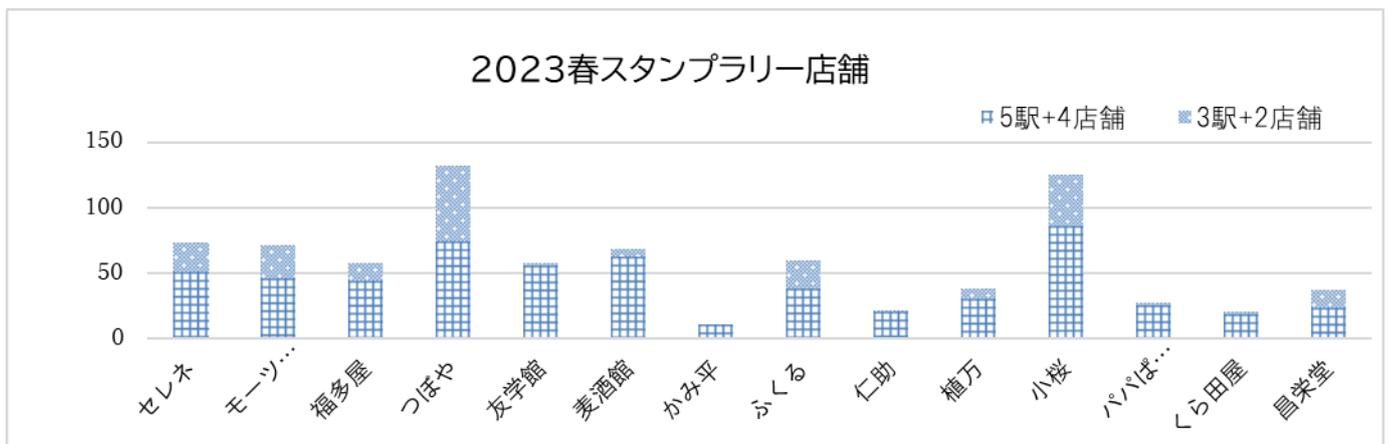
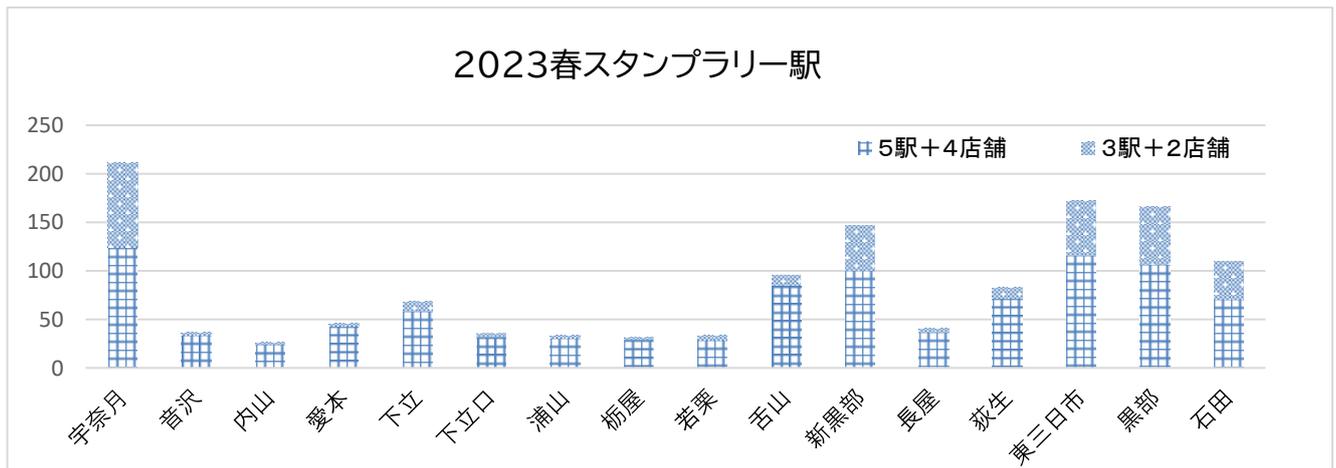
	大人	小人	合計	売上金額
プロジェクト	1,078	545	1,623	675,250
富山地方鉄道(株)	362	71	433	198,750
合計	1,440	616	2,056	874,000

- ・今回実施日数 15日
- ・1日当たりの目標枚数 100枚
- ・最低売り上げ契約ライン 15日×100枚×500円=750,000円
- ・今回不足額(プロジェクト負担金額) 750,000-874,000=-124,000円 (負担金なし)

B. イベント報告

月日	イベント名	参加者数	概要
3/11 (土)	出発式 	90	出発セレモニー ・くろワンサポーターによるくろワン体操 ・テープカット ・花束贈呈

	歩く鐵道展	6	黒部全線開通 100 周年
3/12 (日)	くろべを旅するフォトウイング	29	フェイスブックを回り見本と同じ写真を撮影。
3/19 (日)	黒部ぶらぶらお散歩旅 	10	早咲き桜を散策後、東三日市駅～新黒部駅へグリーンビジネス橋本いちご園にて「いちご狩り」を満喫。
4/2 (日)	黒部の桜めぐり 	9	三島神社、旧三日市小学校（百年桜）をはじめ7ヶ所の桜めぐり。 今年は、例年より早く開花。
4/9 (日)	坐禅・写仏体験と天井絵見学 	7	坐禅・写仏を体験し開山堂で天井絵を見学。 ゆっくりと流れる時間を過ごす。
4/16 (日)	春の愛本さんぽ ～桜もち・よもぎ団子作り～ 	10	農村文化伝承館 山本家で桜もち・道明寺・よもぎ団子の3種類のおやつ作り。 法福寺にて稚児舞奉納を鑑賞。
4/23 (日)	ぶち撮り鉄 黒部のお立ち台 スポットを探せ！ 	6	お気に入りのスポットを探すぶち旅。 親子連れの参加もありました。 天候にも恵まれ、自転車で移動しながら自分のいち押し撮影スポットを探索。



(参加者より寄せられた感想ご意見)

- ・関西出身で黒部に住んで10年になりますが、まだまだ知らない黒部がたくさんあり、とても楽しめました。(30代女性)
- ・宇奈月温泉の日帰り入浴よく行きますよ。(60代女性)
- ・難しかったけど家族みんなで考えて解いてみました！(10代男性)
- ・一時間内に電車往来ありまして乗車降車するのに便利さを感じます。(80代女性)

C. 「ぷち黒部検定」実施

- ・応募者数 34名

② 楽駅停車の旅 2023 秋編

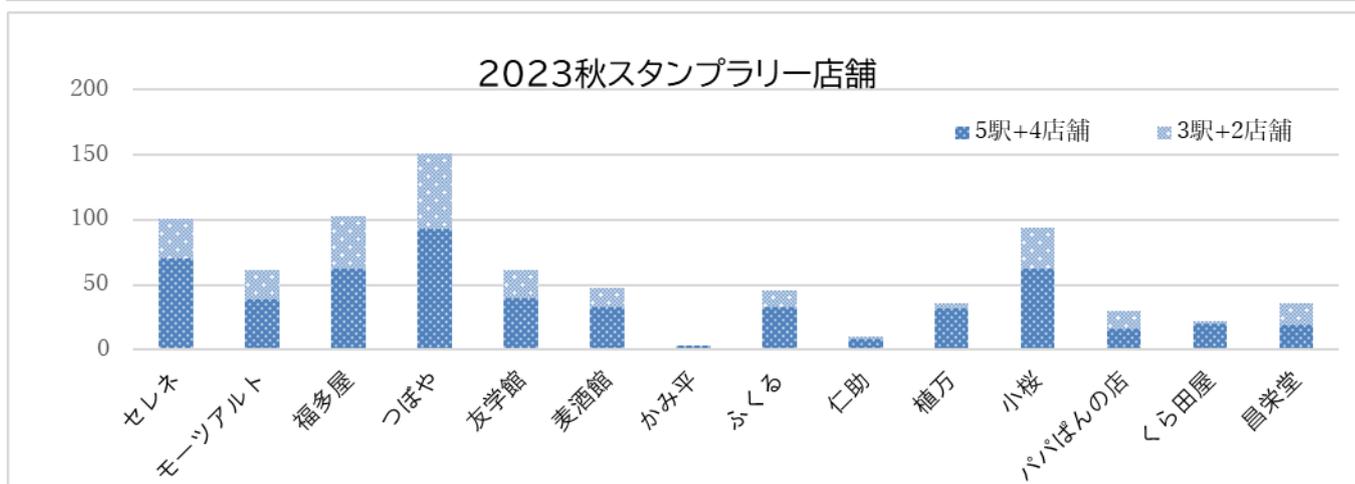
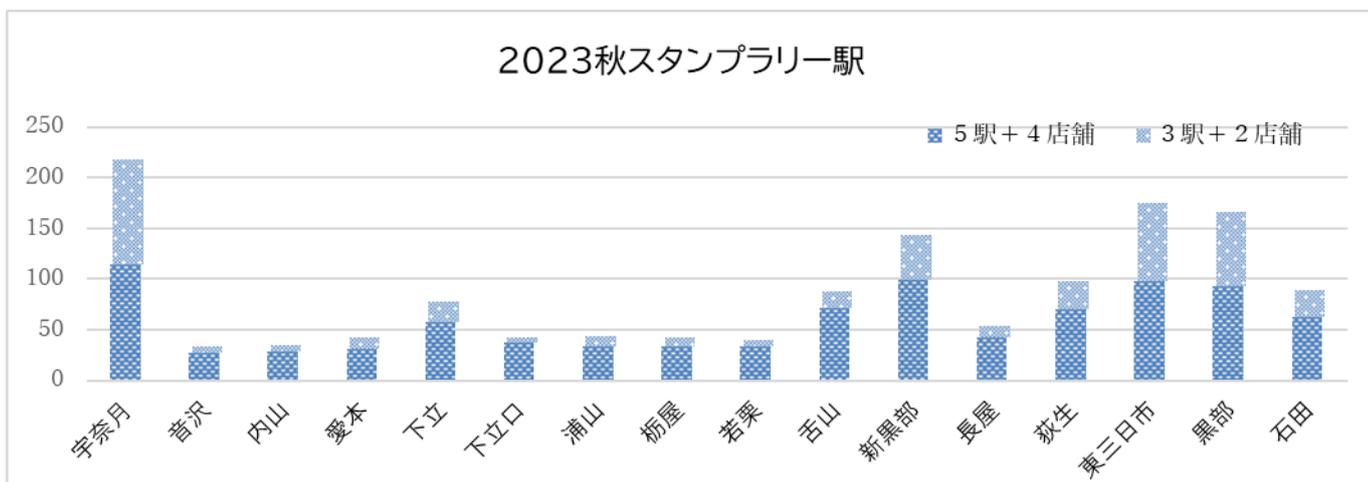
A. 「ワンコイン・フリーきっぷ」販売枚数

	大人	小人	合計	売上合計
プロジェクト	1,055	570	1,625	670,000
富山地方鉄道(株)	612	67	679	322,750
合計	1,667	637	2,304	992,750

- ・今回実施日数 17日間
- ・1日当たりの目標枚数 100枚
- ・最低売り上げ契約ライン 17日×100枚×500円=850,000円
- ・今回不足額(プロジェクト負担金) 850,000-992,750=-142,750円(負担金なし)

B. イベント報告

月日	イベント名	参加者数	概要
9/16 (土)	出発式 	60	出発セレモニー ・黒部愛児保育園くま組さん 23 名が、くろワン体操・歌を披露。 テープカット、花束贈呈。
	鐵道パネル展		電鉄黒部駅・待合室にて展示。
9/30 (土)	宇奈月の梨農園探訪 	8	浦山駅から徒歩 15 分、新興果樹園にて梨栽培の歴史解説や梨摘み体験・試食。
10/8 (日)	電車で GO! サイクリング 	3	自転車と共に宇奈月駅まで乗車。 復路は、愛本駅から朝日ふるさと美術館を經由し、黒部市役所までサイクリングを楽しむ。
10/9 (月)	坐禅・写仏体験と天井絵見学 	11	17 年前に発見された天井絵のご住職の説明を聞きながら鑑賞。 その後坐禅・写仏を体験。
10/21 (土)	謎解きに挑戦! ジオ散歩!! 	11	ジオ専門員、ナチュラリストの方々とともに各ポイントで先人が築き上げた歴史を紐解きながらクイズと謎解き明かしに参加。
10/21 (土)	歩く鐵道展	4	黒部峡谷鐵道宇奈月駅 2F にて鐵道の解説・ビデオ鑑賞・下立駅の解説。 友学館にて鐵道に関する特別展示を見学。
10/28	うちやま再発見ツアー	0	大雨のため中止。
10/29 (日)	秋の愛本さんぽ愛本橋周辺散歩 	7	愛本駅から愛本橋、黒部川神社など各所で歴史を解説。 色づき始めた景色を見ながら散策。



- ・大人になり、ひさしぶりに乗車した地铁・・・黒部のまち・山・温泉を存分に味わえました！検定を通じて秋を楽しむ一日となりました。(30代男性)
- ・久しぶりに地元を巡る事ができました。昔と変わった所が多い一方、変わっていない所も多々あり、なつかしい気持ちになりました。(20代女性)
- ・ゆっくり楽しく思い出しながら脳トレにいいですね。ありがとうございました。(60代女性)
- ・くろワンたのしかったよ。(10代男性)

C. 「ぷち黒部検定」「ブロンズ像巡りクイズ」実施

- ・応募者数 「ぷち黒部検定」57名 「ブロンズ像巡りクイズ」34名

【2024年度 活動予定】

- ・春編：令和6年3月16日(土)～4月29日(月・祝)の土日祝日 計16日間
- ・秋編：令和6年9月14日(土)～10月27日(日)の土日祝日 計17日間

(2) 水餃子のまち黒部プロジェクト

リーダー 本瀬 藍一朗

【活動目標】

黒部市の新たな食文化「水餃子」を次世代に繋げるべく、未来を担う黒部の子ども達へPRし、将来的な「食」への関心を深めます。「まつりから文化へ」をキャッチフレーズに日本一水餃子を食べる街を目指します。

【活動内容及び報告】

①くろべ水餃子大作戦 2024 (2月1日~2月29日)

2月22日を「ふーふーふーくろべ水餃子の日」としてキャンペーンを実施し、市内の販売店さんにもポスターやSNSで水餃子のPRにご協力いただきました。



②黒部市内の保育施設へ「くろべ水餃子」提供

「ふーふーふーくろべ水餃子の日」に合わせ、黒部市内 14ヶ所の保育施設に給食の材料として 1150 個のくろべ水餃子を提供。今年も熱々でモチモチのくろべ水餃子を提供したところ、給食費も高騰する中で食材提供に感謝され、子供達にも喜んで食べていただきました。

園児には、家庭で PR してもらえよう「アクアフェアリーズとくろべ水餃子のキャラクター」に選

手の直筆サインが入った「ぬりえ」をプレゼントしました。

2024.2.23
北本新聞



③KUROBE アクアフェアリーズのオフィシャルマガジン「TSUNAGU2023-2024」にPR掲載

KUROBE アクアフェアリーズのスタッフの皆さんにもご協力いただき、年間を通して SNS やパンフレットにて PR していただきました。



【2024 年度 活動予定】

黒部の食文化の発展に向け、SNS や地元企業とのコラボ等効果的な PR 活動を視野に活動していきたいと考えています。

(3) 賑わっしょい!!くろべプロジェクト

リーダー 菅野 剛寛
サブリーダー 寺田 泰輔

【活動目標】

「黒部の元気と賑わい創出・まちづくり協議会から黒部に元気を！」

各イベントを通して、まちのにぎわいを創出するとともに、市民の皆さんの交流の場を設けることで、いきいきと参加できる「まちづくり活動」の促進を目的に開催するものです。
また、日頃から勤労青少年ホームで行われているワークショップやサークル活動・教室などもたくさんの方に、体験通して知っていただく機会を作ります。

【活動内容及び報告】

①第3回『賑わっしょい!!くろべ』～サマーナイトフェスタ in2023～

「黒部踊り街流し実行委員会」主催の“黒部踊り街流し”との同時開催にて実施。野外ステージでは、富山県警察音楽隊、ご当地アイドル（富山 PR ガール）やヒップホップダンスが舞台を盛り上げました。

(日 時) 2023年8月5日(土) 15:00～21:00
(会 場) 大町中央通り(くろべ市民交流センター付近)
(出 店) 黒部市内20店舗出店

②第4回『賑わっしょい!!くろべ』～春まつりであおーよ!～

黒部市民交流センター(あおーよ)のオープン半年祭を記念して開催。三日市公民館、黒部市図書館等に加え、「百年桜を観る会」が“桜まつり in あおーよ(植樹記念)”イベントを開催した。

(日 時) 2024年3月31日(日) 10:00～15:00
(会 場) くろべ市民交流センター「あおーよ」正面広場
(出 店) 黒部市内9店舗出店

③春のにぎわいマルシェ「KINSHOU HOME DAY 2024」の開催

“春1番のにぎわいマルシェ♥ in 勤労青少年ホーム”を開催。当日は、くろべ牧場の牧場ミルクを使った「ふるまいシチュー」やワッフル・焼き鳥や雑貨小物等を目当てに、たくさんの親子来館者でにぎわいました。

(日 時) 2024年3月20日(水・祝) 10:00～15:00
(会 場) 黒部市勤労青少年ホーム
(出 店) 黒部市内7店舗





【2024 年度 活動予定】

今年度も黒部市に活力を作り出す楽しいイベントを企画・開催します。

(4) 黒部スカイスマートシティ推進プロジェクト

リーダー 今田 光一
サブリーダー 荻野 弘文

【活動目標】

本PJが参画する「黒部スカイスマートシティ推進会議」が作成した「楽しむ、学ぶ、住む、働く、人を呼び込む」スカイスマートシティプロジェクト案の活動の一環として「ドローンをもっと身近に体験してもらいその理解を深める」「こどもにドローン操作の体験をしてもらい将来の地域創生のドローン人材を地元で根付かせる」

【活動内容及び報告】

今年度は、以下3つのイベントを行った。

- ① トイドローンによるドローンの操縦体験
- ② 対戦ドローンを用いたドローン競技の体験
- ③ プログラミングドローンの子供～大人に体験してもらい、自動操縦やドローンショー等の基盤を体験



1/20 ドローン体験会

特に②・③について当地域では初めての試みでもあり、機材の準備やスタッフ側の操作マスター、コース作成やモニターでの操作など多くの準備が必要であった。開催場所についてもいくつかの施設を検討したが、利便性及び会場の設備、安全性の関係から黒部市勤労青少年ホームで行うこととした。開催時期は冬となり、さらに大被害をもたらした能登半島地震の直後になってしまったことからポスターやチラシなどの案内が遅れ気味になり教育委員会の後援を受け、地域の小学校でのチラシ配布を行い周知を図った。イベント前週にリハーサルを実施した。参加申込はすべて予約制を基本とし当日受付も併用して行った。

- ① トイドローン操縦体験：参加 24 名 29 名申込のうち 2 名欠席、混んでいたため 3 名が実施できず。
- ② 対戦ドローン競技体験：参加 23 名 27 名申込のうち 1 名欠席、混んでいたため 3 名が実施できず。
- ③ プログラミングドローン体験：参加 10 名 12 名の申込があったが 2 名が欠席、計 11 名のスタッフで対応。

《反省点》

- 実施期間：本来は数回実施の予定であったが、機材、飛行コース、充電その他の検討などに手間取り 1 回の実施にとどまった上 1 月になってしまった。次年度は得られた今回のノウハウで季節毎の開催を図りたい。
- 飛行回数が増えるにつれトイドローンの故障や不具合が目立った。時間毎の確認および予備機の準備などが必要と思われた。
- 来場したが予定時間のずれなどで参加できなかった方あり。タイムキーパーの設置が必要である。
- スタッフ数：時間に追われ休憩が取れないスタッフがいた。あと 3 名ほどの増員があれば良かった。
- 参加料：今回は操縦体験 100 円、プログラミング 300 円とした。参加景品がやや多かったと思われるため、そのバランスを検討する必要がある。

《次年度の開催への課題》

●ドローン体験会の定例化

今回得られたノウハウおよび機器で操縦体験を定例化したい。とくにプログラミングドローンは世代問わず参加でき人気があったこと、体験レベル設定が可能なことなどから充実化を図りたい。

●今回行えなかった空撮ドローン体験を次年度は実施したい。

●物流飛行、防災飛行などスカイスマートPJ 発表のイベントについても実施を計画。

【2024 年度 活動計画】

(事業目的・内容)

好評であった令和 5 年度に開始したドローン操縦体験会事業の継続と内容の更新。勤労青少年ホームの運動室あるいは公共施設などでドローンに触れる機会を定期的で開催し、ドローン操縦体験および飛行プログラミング体験を継続するとともに、令和 6 年度は空撮ドローンでの撮影体験を経験してもらう機会を設け、さらに住民が気軽にドローンやスマート活用への親しみを深められる機会を作る。

- ① トイドローン操縦体験、ミニレース
- ② トイドローンプログラミング体験
- ③ 空撮ドローンの操縦体験

※トイドローンイベント時に空撮用ドローンでの記念写真撮影なども行う。SNS 発信・みらーれ TV 取材を併用。

8 月～9 月ドローン操縦体験会② : ドローン操縦/プログラミング 勤労青少年ホーム運動室ほか
11 月～12 月ドローン操縦体験会③ : ドローン操縦/プログラミング 勤労青少年ホーム運動室ほか
(可能であれば 1～3 月にも設定)



ドローン操縦体験



ドローンプログラミング体験

3. 実行委員会の活動

(1) 黒部駅周辺活性化実行委員会

リーダー 川本 敏和
サブリーダー 能登 民夫

【活動目標】

あいの風とやま鉄道黒部駅の自由通路や西側改札口の実現で、鉄軌道を活かした駅周辺の賑わいとバランスのとれた年代層の定住促進を図り、地域住民が互いに支え合う持続可能な街づくりを目指します。



【活動内容及び報告】

① 2023 年度総会の開催 2023 年 6 月 11 日（日）

年 1 回の総会を開催し、黒部駅周辺整備の実現で鉄軌道を活かした駅周辺の賑わいと定住促進を目指す方針や事業計画、収支計画等を決定しました。また、TOMORI 代表 國香 比音さんを講師としてお招きし、「空き家の利活用」についてご講演いただきました。



② 黒部駅前花壇と県道沿い小花壇の整備 2023 年 6 月～11 月

駅東側の小公園や県道沿い小花壇、プランターに道路愛護ボランティアの皆さんと協力し、年 2 回の花植え替えや年 5 回の雑草除去等の花壇整備、また 7 月～9 月の間は担当者による水やりを行うなど、「花と緑の街づくり運動」を推進しています。



ボランティアによる花壇整備

③ まち歩きイベント（あいの風鉄道 新富山口駅・高岡やぶなみ駅） 2024 年 2 月 25 日（日）

あいの風とやま鉄道の「新富山口駅」と「高岡やぶなみ駅」の視察を兼ねた「まち歩きイベント」を開催しました。あいの風黒部駅の整備計画が進む中、近年開業した 2 駅の構造や利用状況等を学ぶ良い機会となりました。



【2024 年度 活動予定】

黒部駅周辺の賑わいづくりのため、駅周辺の花壇整備や近隣保育所園児参加によるイルミネーション点灯式の開催、地元地域の歴史・文化の再発見のための地域の語り部講演や公共交通を利用したのまち歩きイベントも開催します。

(2)新川アイドルプロジェクト実行委員会

実行委員長 成川 正幸

【活動目標】

朝日町、入善町、黒部市、魚津市や滑川市在住のアイドルやモデルに憧れている女性を対象としたプロジェクト。地方にいながらでも夢を叶えるお手伝いをしたいという想いから実現。プロジェクト所属のメンバーでのユニットやソロ活動を通して新川の魅力を発信していきます。メンバーは4名でスタートし、現在は、いつか、あやか、めい、ゆあ、まな、さくら、みぶきの7名に、研修生のあい、ゆめかの2名を加え9名で活動中。

【活動内容及び報告】

オーディション、レッスン、CD発売、コンサート、イベント、テレビ、新聞、雑誌の出多数。

《2023年度の主な活動》

2023. 4.1	SPAマラソン in うなづき
2023. 5.28	黒部名水マラソン
2023. 6.2	CD「ハジメノイッポ」発売
2023. 6.6	ホテル黒部女将インタビュー
2023. 6.30	クロスファイブ祭（朝日町）
2023. 7.15	入善深層水ふれあいデー（入善町）
2023. 8.5	賑わっしょい!!くろべ
2023. 8.6	どやまランドフェスティバル
2023. 8.19	サクラ咲くフェスタ 2023 夏の陣（黒部宇奈月温泉駅）
2023. 9.5	魚津市長表敬訪問
2023. 9.10	ユタタウンミュージックパーク（富山）
2023. 9.17	くろべフェア
2023.11. 4	JAくろべ農業祭 2023
2023. 11. 13	滑川市長表敬訪問
2024. 3.16	サクラ咲くフェスタ 2024（黒部宇奈月温泉駅）
2024. 3.17	みらーれTV復興支援チャリティコンサート（入善サンウェル）
2024. 3.31	賑わっしょい!!くろべ（あおーよ）



【2024年度 活動予定】

「LOVE DREAM」でCDを発売する他、引き続き、イベント、ライブ出演等を行い、地域に親しまれるアイドルを目指す。

≪事務局について≫

■事務局の体制

(1) 事務局の変遷

1997年(平9)に任意団体として設立。

黒部商工会議所を中心に、地元企業や行政からの派遣職員をもって事務局が構成される。

2002年(平14)には特定非営利活動法人(NPO法人)となり社会的責任と信頼が付加される。

2006年(平18)からは黒部市勤労青少年ホーム指定管理者となり現在の事務局体制となる。

(2) 事務局の働き

NPO法人としての運営管理(登記・経理・各官庁報告)

各WS・PJとの連携及び調整・助言機能としての役割

各種実行委員会として、市内外の各団体と連携を図る役割

黒部市勤労青少年ホームの指定管理者として施設の管理運営

(3) 活動の発信と情報の受発信

互いに活動が見えるようにすることを目的に、WebサイトやSNSの活用による会員への案内、全国への発信・活動の公開を図る。

これらを活用して会員の意見や感想なども載せ、また、いくつかのワークショップやプロジェクト、実行委員会が持つホームページやFacebookに互いにリンクさせるなど、コミュニケーションを図る取り組みをしている。

(4) 会員との連絡

会員には電子メールやFAX、郵便といった手段を使って案内をしている。今後は電子回覧板などの導入も検討していく。(連絡方法・住所等の変更については、事務局へご連絡ください)

■「黒部市勤労青少年ホーム」指定管理者として

(1) 施設概要

- | | | | |
|--------|--|------|-------|
| ①名称： | 黒部市勤労青少年ホーム | ③竣工： | 昭和61年 |
| ②所在地： | 黒部市新牧野220 | | |
| ④規模： | [敷地面積]883㎡ [構造]鉄筋コンクリート造2階建て [延べ床面積]10,041.48㎡ | | |
| ⑤設置目的： | 勤労青少年及び地域住民の福祉に関する事業を総合的に行うため | | |
| ⑥構成施設： | 音楽室・会議室・軽運動室・和室・茶室・研修室・創作室・調理室 | | |
| ⑦休館日： | 月曜日及び年末年始(12/29~1/3) | | |
| ⑧開館時間： | 9:00~21:30 | | |

当協議会は、ホームの指定管理者として施設を運営管理しており、災害時の避難場所として利用されることに備えた日常維持管理、生涯学習の場として各種団体や個人への施設貸与、グループ活動の継続や黒部市適応指導教室「ほっとスペースあゆみ」へ向けた業務を行っています。

2023年度は新型コロナウイルス感染症の影響も減少し利用者の活動も活発になってきたことから、昨年度に比べ利用者数は増加した。

また、口コミやSNS等での利用促進活動により、新たな利用団体も増加。加えて、集客イベント「勤労青少年ホームイベント(春のにぎわいマルシェ KINSHOU HOME DAY)」や「こども食堂」の開催が当ホームのPRに繋がったものと思われます。



《2024年度 黒部市勤労青少年ホームの利用促進に向けて》

当館をより広く知ってもらうため、SNSやメディアに加え、様々な「イベント」を上手く活用して利用の増加を図っていきます。2024年度に於いても、より多くの方に当館を知っていただき、ご来館のうえ体験するキッカケを提供するためにもサークル・教室発表会(勤少まつり)を開催します。

また、今年度も利用者アンケートやサークル代表者との意見交換会を実施し、要望から改善に繋げることにより、より利用しやすいホームを目指します。

(2) 2023年度利用状況

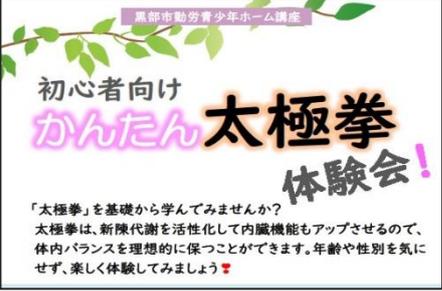
開館日数	309日	利用者数	23,372人	
利用件数	2,278件	一般	16,082人	
内 訳	個人	320件	内 訳	
	団体	1,958件		小中学生
			高校・大学生	372人

2023年度目標値 20,000人 ⇒ 実績値 23,372人 (+3,372人)

<実施事業(講座の開催)について>

【教養講座開催】

講座名	実施日	時間	講師	参加者数
はじめての紙バンド講座	5/13・5/20(土)	10:00~12:00	善田 希	4名
<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>				

<p>藍染め講座</p>	<p>5/12・7/7 (金)</p>	<p>10:00~12:00</p>	<p>南部 歩美</p>	<p>12名</p>
				
<p>初心者向け かんたん太極拳 体験会</p>	<p>5/20・6/17・10/14</p>	<p>15:00~16:00</p>	<p>下霜 美智子</p>	<p>15名</p>
				
<p>アロマ 虫除けスプレー 講座</p>	<p>6/17 (土)</p>	<p>10:00~11:30</p>	<p>佐々木 晃美</p>	<p>8名</p>
				
<p>初めての資産運用 ライフプラン セミナー</p>	<p>7/30 (日)</p>	<p>10:00~11:30</p>	<p>富山第一銀行</p>	<p>9名</p>
				
<p>夏の 親子絵手紙教室</p>	<p>8/8 (火)</p>	<p>13:00~15:00</p>	<p>絵手紙すみれの会</p>	<p>17名</p>
				

シニア向け バランスボール 体験会	9/7・10/15・12/7 1/11 (木)	10:00~11:00	飯作 愛里	16名
睡眠アップアロマ スプレー & ハンドマッサージ オイル講座	10/7 (土)	10:00~11:30	佐々木 晃美	9名
Xmas ツリースワッグ 講座	11/22 (水)	10:00~11:30	SACHI10iro 小泉悠子	27名
「ミニ門松づくり」 講座	12/23 (土)	10:00~11:30	フォレストリーダー	25名
アイシングクッキー 講座	2/11 (日)	10:00~11:30	ままごころ 吉江 都	23名

■自立自走した事業展開

(1)「黒部のそのまま天然水」の販売

当協議会では「黒部のそのまま天然水」を平成 25 年より、地元企業や各店舗をはじめ、ホテル、コンビニ、観光地等で販売しています。

2021 年度「モンドセレクション受賞」を機に、ブランドイメージの向上および新規販売先獲得など販路拡大にも繋がっています。



(2)「くろべ名水ポーク入り水餃子」の販売

地元飲食店やスーパー・土産店で販売し、好評を得ている名水ポークを使用したオリジナル水餃子も「ふるさと黒部サポート寄付」の返礼品や黒部市観光ギャラリー内の「のわまーと」が扱う「イイモノセレクトショップ」においてネット販売が開始されています。

2024 年度に於いては、引き続き販路拡大と市内に水餃子の普及に努めます。



■2024 年度 事業計画

(1) 黒部市勤労青少年ホームの利用促進に向けて

当ホームをより多くの方に広く知っていただくため、SNS やメディアに加え、様々な「自主講座」や「イベント」を上手く活用して利用の増加を図っていきます。また、ご来館のうえ体験するきっかけを提供するためにサークル・教室発表会（勤少まつり）を開催します。

2024 年度も「利用者アンケート」や「サークル代表者との意見交換会」を実施のうえ、要望から改善に繋げより利用しやすいホームを目指します。

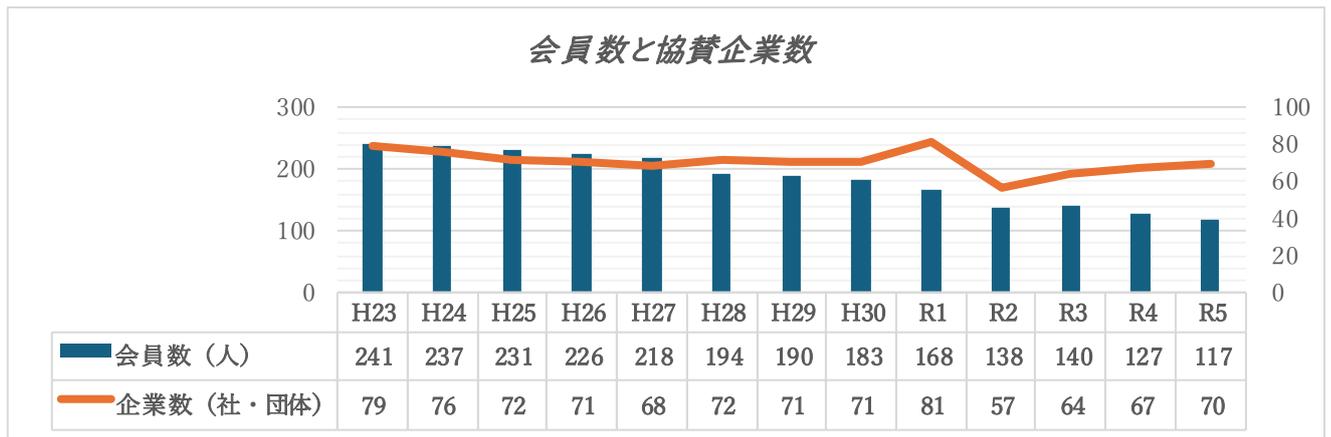
(2) 黒部まちづくり協議会の組織強化に向けて

当協議会の会員数は残念ながら減少傾向にあります。「自立した組織」「地域に貢献できる組織」「市民に愛される組織」とするためには、勤労青少年ホーム利用者やまちづくりに関心のある方々に積極的に声掛けし、まずは関係人口を増やすことが必須です。

今年度も引き続き、集客イベントや講演会等を開催するなど、新たな取り組みを実施するとともに市内他団体との連携のうえ、黒部市の課題解決に向けて積極的にプロジェクトに参画していきます。

(3) 黒部まちづくり協議会の会員数増加策について

マンネリ化した活動に様々な視点から“新しさ”を取り込み、既存のグループを活性化とともに、新たなWS・プロジェクトの立ち上げにより、楽しく活気あふれる協議会へと繋げていきます。



(※会員 117 名のうち個人賛助会員は 10 名、協賛企業は 70 先、合計 80 先)

また、2023 年度も認定 NPO 法人を目指して、正会員に加えて議決権のない賛助会員を設け、企業・団体について賛助会員として登録させていただきました。しかし、認定 NPO 取得条件の「賛助会員 100 名以上」には達せず、2024 年度も認定 NPO 取得に向けて取り組むことといたします。

<物販販売等の収益事業について>

「黒部のそのまま天然水」については、「モンドセレクション 2021 最高金賞受賞」によるブランド名アップを弾みに新規顧客獲得および販路拡大に取り組みます。

「くろべ名水ポーク入り水餃子」の販売では、パッケージデザインのリニューアルを機に、各スーパー等の販売強化および新たな販売チャネルの拡大を図り、当商品の更なる浸透に繋がります。

《黒部まちづくり協議会のグループ定義について》

当協議会では、各組織の整合性や会計上の問題等を考慮のうえ、2021 年度より下記のとおり新しい枠組みでの取り組みを行っております。

■グループの考え方について

① ワークショップ

地方分権が進む今、行政主導ではない市民によるまちづくり運動を起こす。協議会がやろうとしている事は、行政が何十年もかけて取り組んでいる課題の解決に参画することでもある。

(平成 11 年発刊 いつか桜の下でより)

よって、ワークショップは、黒部市総合振興計画に沿った活動を基本にし、組織内の活動であることから計画・予算に関しては、まちづくり協議会が関わることとする。

② プロジェクト

プロジェクト推進においては、黒部まちづくり協議会全体として取り組む事業と位置付ける。

ワークショップを横断して取り組む事業とし、組織内の活動であることから計画・予算に関しては、まちづくり協議会が関わることとする。

③ 実行委員会

活動は、市内の各団体や組織等と協力して展開する。(平成 23 年報告書より)

まちづくり協議会とは別組織とし、別会計とする。

まちづくり協議会は活動に対して補助金を出資することとする。